

基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり



－イメージビジョン－

地域の環境、さらには地球規模の環境をよくするため、世代や職業、地域の枠を越えて、多くの人や団体が連携して活動しています。

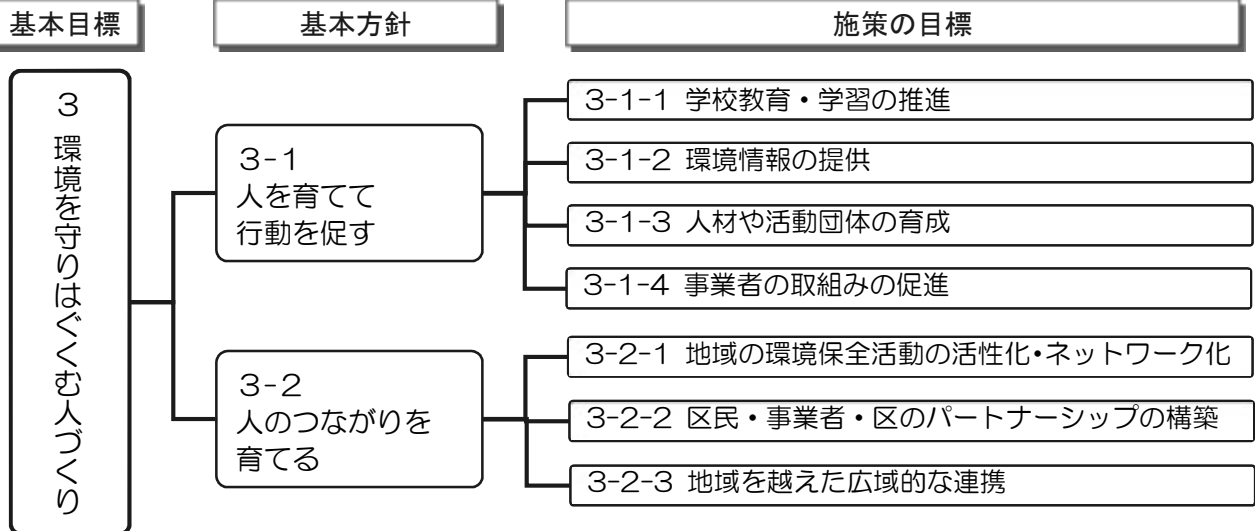
また、子どもたちも、「めぐろ」に愛着をもち、都会にありながら自然とのつきあい方を身につけています。

人々は、環境に与える負荷を十分に認識して、ごく自然に環境保全に取り組んでおり、多様なツールから環境に関する情報を得て、発信しています。

転入した人々も、子どもや地域との関わりの中で、「めぐろ」の環境について学び、環境にやさしい暮らし方を賢く選択しています。

こうした将来像を目標に、環境への気づき、意識改革、行動の変化をもたらす、学習や体験の機会を増やし、日常生活の中で環境に関する情報交換や活動ができる、環境コミュニティを醸成していきます。

また、環境学習等に参加した人々が、地域の環境活動や人材育成に携わっていく仕組みを構築し、区民の環境意識の向上を図ります。



3-1 人を育てて行動を促す

【実現に向けた考え方】

環境にやさしいまちをつくるためには、環境保全の大切さや環境問題の現状を知り、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を身につけ、定着させることが重要です。

そこで、環境学習の推進、環境情報の提供により、区民一人ひとりの環境問題に対する関心を高めます。また、積極的に区の環境保全に関わる人材や活動団体を育成し、活躍の場を提供することで、区民の環境意識や参加意欲の向上を図ります。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成 😐: 目標値に近づいている 😞: 目標値に近づいていない -: 現状値を把握していない

指標項目 〔環境指標〕 〔取組指標〕	基準年度	基準年度末 時点実績値	2014 (平成26) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
環境推進員養成講座修了者数 (累計値)	22	63人	146人	263人	😐
環境保全活動参加経験率※1	24	5.8%	6.8%	2012 (平成24)年度 実績+10%	-
環境に関する情報提供の満足度※2	24	11.0%	14.2%	2012 (平成24)年度 実績+10%	-
普及版めぐろグリーンアクション プログラムの参加件数/修了件数	23	144件/3件	500件/1件	増加	😐
区ホームページ※3 (もっと知りたい 環境のこと) アクセス数	23	697	239	増加	😞
めぐろグリーンアクションプログラ ム(事業所版)の新規認定件数	22	1件	3件	増加	😊

※1 環境に関するアンケートの問「区で行っている環境保全に関する取組みへの参加経験」に対し、どれかに参加したことがあると答えた人の割合。

※2 環境に関するアンケートの問「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合。

※3 <http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>
トップページ>キーワードから知るめぐろのこと>学ぶ>もっと知りたい環境のこと

【2014(平成26)年度の成果】

- ・ 環境推進員養成講座を開催し、2014(平成26)年度の受講生30人のうち22人が修了生となり、着実に数値目標に向けて増加しています。
- ・ 普及版めぐろグリーンアクションプログラムの参加件数は500件、修了件数は1件でした。一方、めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)の認定件数は3件で、中間報告は13件でした。

3-1-1 環境教育・学習の推進

《目黒区環境学習実行プランにおける環境学習の推進》

環境学習分野の事業の進行管理を計画的に行うため、2014(平成26)年3月に、目黒区環境基本計画の基本的な考え方に沿い、目黒区環境学習実行プランを改定しました。

目黒区環境学習実行プランは、区内に在住・在勤・在学・在活する区民や事業者を対象に、「気づき」を促すことから始め、環境保全の取組み方を身につける「知恵づくり」、さらに環境保全活動に積極的に関わる人材をはぐくむ「人育て」へと、環境学習への「啓発」を積み重ね、環境学習活動の充実や行動を促すことを目指します。

【2014(平成26)年度の達成度と評価】

目黒区環境学習実行プランの改定により、達成状況を毎年点検し、数値目標を定めない計画についても評価できるように、人づくりを重視した環境学習評価シートにより自己評価します。

2014(平成26)年度について、施策の目標ごとに次のとおり達成度を評価します。

【達成度 A】 計画目標を上回った

【達成度 B】 計画目標を達成した

【達成度 C】 計画目標を一部達成した

【達成度 D】 計画目標を達成していない

基本目標1 <良好な生活環境を守りはぐくむ>

1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす	達成度
・有害化学物質に対する情報収集や啓発	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 大気環境調査を継続的に進めた結果、すべての対象事業所から報告があり、それらを基に実態を把握した調査結果等の大気データを公表し、情報提供・啓発を行うことができた。また、排出抑制を心がけ、排出抑制につながる方策を考慮した。	

1-2 みどりあふれるまちで暮らす	達成度
・みどりのまちなみ助成	B
・駒場野公園での体験型環境学習の推進	B
・区民農園	B
・収穫体験農園（じゃがいも掘り）	B
・収穫体験農園（ぶどう狩り）	B
・自然通信員の育成	B
・ビオトープ事業	B
・自然とみどりの普及啓発パンフレットの作成・配布	B
・落ち葉ソク事業	B
・自然観察教室の開催	B
・巣箱モニター	B
・花とみどりの学習館の緑化普及・ボランティア養成事業	B
・公園活動登録団体等の支援	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 みどりを育てる団体や個人の活動への支援など、区報やホームページ等で身近なみどりの育成に親しみや関心をもって活動へ取り組むための啓発を行ったところ、多くの参加者があった。 みどりや自然とふれあう体験の機会を積極的に設けて、アンケート等を実施して参加者の意見を取り入れ、事業の向上に努めた。事業の実施にあたっては、生物多様性の確保にも取り組むことができた。	

1-3 安らぎのあるまちをつくる	達成度
・目黒川クリーンアップ大作戦	B
・ポイ捨て禁止啓発	B
・落書き消去活動支援	B
・ボランティア清掃活動団体支援	B
・環境美化推進団体支援	B
・区内文化財めぐり	B
・歴史資料館運営	B
・古民家運営	B

〔評価コメント〕

計画について、目標どおり達成することができた。

「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という意識を広め、各地にスイーパーズが定着したり、清掃体験やキャンペーンなどの実施により、まちの美化に取り組むことができた。

景観上重要な要素となる建造物や樹木等を保全し、街並みの背景にある歴史・文化・風土について、その価値を学び親しむ機会を提供し、一定の成果をあげることができた。区外からの参加者も多数見られ、区の枠を超えた広がりをもつことができた。

基本目標2 <ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ>

2-1 ものを大切にする地域社会をめざす	達成度
・環境学習の充実（資源とごみのパンフレット作成・配布）	B
〔評価コメント〕	
計画について、目標どおり達成することができた。	
子ども向けのパンフレットを作成して区内小学生へ配布し、次世代の育成のための環境教育や、ごみそのものの発生を抑えるための暮らし方の工夫や、「めぐろ買い物ルール」などに取り組むことができた。若者世代向けにも、リーフレットなどを配り、普及啓発に取り組むことができた。	

2-2 地球にやさしい地域社会をめざす	達成度
・エコ住宅の啓発（住宅リフォーム資金助成）	B
・エコ住宅の啓発（住宅修築資金融資あっせん）	B
・新エネルギー及び省エネルギー機器導入支援	B
・エコドライブ教習会（環境に配慮した運転の啓発）	B
・地域まちづくり活動への情報発信・支援	B
・商店街、街路灯のLED化支援事業	B
・地球温暖化防止月間、省エネの啓発、ヒートアイランド対策	B
〔評価コメント〕	
計画について、目標どおり達成することができた。	
環境に配慮した安全で快適に住み続けられるまちづくりを目標に、助成等の機会を捉えて、環境に配慮した省エネ住宅や再生可能エネルギー・省エネルギー機器等の設置について啓発を行い、低炭素ライフスタイルの普及を図ることができた。	
地球温暖化防止月間として、区報やホームページ・冊子等により啓発を行い、軽装化を実施し地球温暖化防止に取り組むことができた。	

基本目標3 <環境を守りはぐくむ人づくり>

3-1 人を育てて行動を促す	達成度
・ふれあい指導（依頼による出前環境学習、資源・ごみ処理の流れや分別）	B
・野外活動器材貸出（環境教育・学習の推進）	B
・中学生の自然体験授業（環境教育・学習の推進）	B
・自然宿泊体験教室事業の実施（小4から中1までを対象に実施）	C
・めぐろグリーンアクションプログラム（学校版）	B
・環境月間（環境学習の推進）	B
・環境学習（環境学習の推進）	B
・環境測定機器貸出（環境学習の推進）	B

・めぐろグリーンアクションプログラム（家庭版普及版）	C
・エコライフめぐろ推進協会事業（日常における省エネ）	C
・エコライフめぐろ推進協会事業（EMS研究会運営支援）	C
・EMS（環境マネージメントシステム）研究会運営支援	C
・情報の一元化（環境学習の推進）	C
・環境推進員養成講座（環境学習の推進）	A
・環境推進員ステップアップ講座、交流会（環境学習の推進）	B
・環境学習協働事業（環境学習の推進）	B
・消費生活講座（環境問題を考え、環境に配慮した消費生活の意識向上）	B
・めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）	B
・国際規格取得支援事業（ISO9000、ISO14000 シリーズの認証取得経費の補助）	C
〔評価コメント〕 計画に定めた目標を一部達成していない事業があった。 環境への気づき、意識改革、行動の変化をもたらすことを目指し、学習や体験の機会を増やし、日常生活の中で環境に関する活動ができる人を育てていくための講座等を実施した。また、区民自ら環境保全活動に取り組めるよう、地域の自主的な環境学習活動を通じた人材育成と支援を行うことができた。 協働事業として、生ごみの堆肥化やイベントにおいてごみゼロ化などの環境に配慮した取り組みを行うことができた。 区内小中学生を対象として様々な体験活動を行い、学校における学習内容をより深め・発展させて、事業を実施することができた。	

3-2 人のつながりを育てる	達成度
・消費生活展（環境問題について考え、環境に配慮した消費生活の意識向上）	A
・エコまつりめぐろ	B
・エコプラザまつり	B
・めぐろエコの森（宮城県角田市）	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができ、消費生活展については、実績数値が目標数値を大きく上回ることができた。消費生活展は、近年継続して行われている事業で、地域に定着してきており、多くの参加者が集まった。 エコプラザを環境活動の拠点として、エコライフめぐろ推進協会のコーディネート機能を活用し、環境配慮活動団体のネットワークの形成と活動の活性化に取り組んだ結果として、前回は上回る参加があり、企画の内容に充実が図られた。 また、地域を超えた広域的な連携を図るため、地球温暖化対策の取り組みとして、宮城県角田市の「めぐろエコの森」を維持した。	

重点プロジェクト	達成度
・「節電からはじめるライフスタイルの転換」の推進	A
〔評価コメント〕 「めぐろスマートライフ」を普及させる準備段階として、「めぐろスマートライフ提案会議」を立ち上げて、平成27年度のホームページ公開に向けて準備を進めた。 準備段階であり、非該当項目も多くあるが、平成26年度の目標は達成することができた。	

《 環境学習機会の提供 》

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会・学習会を開催しました。

また、普及版めぐろグリーンアクションプログラムを普及させることで、世帯単位での環境配慮への取組みを進めました。

＜環境学習の内容と参加人数＞

講座・講習会名	延参加人数
子育てママのエコ入門講座（10回）	親子753人
消費生活講座（2講座）	35人
消費生活展	7,927人
普及版めぐろグリーンアクションプログラム 参加件数/修了件数	500件/1件

《 学校等における環境学習の推進 》

学校における環境学習活動の充実を図るため、学校版めぐろグリーンアクションプログラムを区立小中学校全31校で継続して行っています。

《 自主的な環境学習の支援 》

区では、区民等が自主的に行う環境学習や環境活動の支援、学校・町会・地域などの活動で利用できる身近な環境測定機器の貸出しを行いました。また、生ごみの堆肥化活動の支援を行いました。利用回数は64回と減少していますが、区民の活動が定着してきました。



＜騒音計＞

《 エコプラザを活用した環境学習 》

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザにて開催しました。

2014（平成26）年度に開催した講座・講習会は延べ56講座、1,662人の参加がありました。この取組みは、地域の団体、事業者、学校などと協働で企画運営しており、子どもたちの参加が増加しました。

＜環境学習の内容と参加人数＞

講座・講習会名	参加人数
サロン・エコライフ	140人
夏休み自主研究会場	24人
リユース講座	30人
修理コツコツ講座	147人
エコプラザまつり	50人
打ち水で夏を涼しく	45人
何でもつくり隊	1,223人
環境推進員ステップアップ講座	21人





<資源とごみの分け分けゲーム>



<環境紙芝居>

2015（平成27）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ みんなで笑いながら省エネにトライする「めぐろ笑エネトライ」の普及に努めます。
- ◇ 区民等が自主的に行う環境学習・環境活動への支援を行います。
- ◇ エコプラザを活用した、省エネルギーやごみ減量に関する講座・講習会を開催するとともに、活動室等を活用して、活動団体が定例で開催するリユース講座や包丁研ぎ講座等のリペア事業の開催を定着させます。
- ◇ 環境啓発・環境測定について、区民が利用できる機器（騒音計）の貸出しを実施します。
- ◇ 自主的な環境学習のために、区民等に騒音計の貸出しを行います。

3-1-2 環境情報の提供

《 環境情報の一元化 》

2012（平成24）年3月に改定した目黒区環境基本計画の体系に基づき、2014（平成26）年度に実施した環境施策の状況及び評価を明らかにした環境報告書（本編・資料編・概要版）を作成し、区の施設で配布したほか区ホームページ²⁰でも公表しました。

《 多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化 》

6月の環境月間に、総合庁舎西口ロビーで「～温暖化対策・緑のカーテン～」パネル展とエコドライブ疑似体験を実施しました。目黒区エコプラザ情報室の図書・資料等の整備、エコ商品の紹介、相談業務の実施、展示コーナーを活用した啓発パネルやソーラーパネル等の展示、人力発電機の体験コーナーを設置しました。さらに、エコプラザニュースの発行（計12回）など広報紙の充実を図り、エコプラザの利用促進を図りました。さまざまな機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めていきます。

＜目黒区エコプラザ情報室の利用状況＞

利用項目	登録人数 ／利用回数
新規利用登録数	149人
活動室利用件数	248件
図書貸出件数	116件
不用品情報登録件数	266件
不用品のあっせん成立	68件

2015（平成27）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 目黒区環境基本条例に基づき、環境報告書の作成と配布を行います。
- ◇ 環境月間を周知するとともに、一人ひとりが身近な地域環境から考えるきっかけとなるようなパネル展などを実施します。
- ◇ 区ホームページに環境情報の積極的な掲載を行い、情報発信します。
- ◇ エコプラザのPR活動を強化し、利用促進を図ります。

トピックス

目黒区ホームページ「もっと知りたい環境のこと」コーナー

各種環境データ、学べる施設、講座に関する情報を随時更新しています。

WEB

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>

トップページ > キーワードから知るめぐろのこと > 学ぶ > もっと知りたい環境のこと



²⁰ http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa_hokoku/kankyo_hokoku/index.html
 トップページ > 行政情報 > 統計・調査・報告 > 調査・報告 > 目黒区環境報告書（めぐろの環境）

3-1-3 人材や活動団体の育成

《 地域の環境配慮活動団体の支援 》

学校や団体からの要請により、テーマに沿った講師を派遣しました。

《 環境推進員等の育成・支援 》

2014(平成26)年度は、「地球温暖化ってなあに?なぜ今、異常気象なの?」をテーマとして、環境推進員養成講座を開催し、環境保全活動のリーダーを育成しました。30人の受講生の中、22人が修了生となりました。また、環境推進員のステップアップ講座を2回、交流会を1回開催しました。



＜環境推進員養成講座＞

2015(平成27)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 環境推進員養成講座を開催し、環境保全活動のリーダーを育成します。また、環境推進員が区や団体等と協力して、地域で活動していくためのステップアップ講座を開催します。
- ◇ 環境推進員が作成する修了生向けの通信誌の支援を行います。
- ◇ 地域活動団体・事業者団体に対して、活動の支援を行います。

3-1-4 事業者の取組みの促進

《 環境に配慮した事業活動の促進 》

めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)を推進し、認定会を3回行いました。

2014(平成26)年度は新規の認定が3件、中間報告が13件ありました。

また、製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわるソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格であるISO9000並びに14000シリーズの取得に対して、費用の一部を助成しています。2014(平成26)年度は1社が助成を受けました。

＜認定事業者の概要＞

認定事業者名	主な取組み内容
日進レンタカー株式会社	・店頭店先に四季の花々を植える、店内のLED化など
株式会社中目黒ジーティー	・周辺の清掃活動、照明の3割程度を消灯、屋上緑化など
自由が丘商店街振興組合	・みどりを育てる、『丘ばちプロジェクト』の実施など

2015(平成27)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)を推進します。
- ◇ 区内中小企業のものづくり事業を営む事業者に対し、国際規格取得支援事業を行います。

めぐろグリーンアクションプログラムとは…

今、私たちの周りには地球温暖化を代表として様々な環境問題があります。この問題を解決するには、区、区民、事業者、学校がそれぞれの立場から環境に配慮した活動を行うことが必要です。

区では、家庭や事業所、学校において、地球温暖化防止のために具体的に行動するしくみとして、目黒区独自の環境配慮行動プログラム「めぐろグリーンアクションプログラム」をつくりました。このプログラムには、家庭版・事業所版・学校版の3種類があります。

家庭版めぐろグリーンアクションプログラム

みんなで笑いながら省エネにトライする「めぐろ笑エネトライ」です。パンフレット、エントリーシートを配布しています。

チャレンジしたい個人の方は、環境清掃部環境保全課温暖化対策係まで。

めぐろグリーンアクションプログラム事業所版

「めぐろグリーンアクションプログラム事業所版」は、環境に配慮した行動を行う区内事業者を応援するプログラムです。

チャレンジしたい事業者の方は、環境清掃部環境保全課温暖化対策係まで。

学校版めぐろグリーンアクションプログラム

学校版は、環境教育推進のための一つの手段であり、児童・生徒と教職員が一体となって、学校生活の中で継続的に省エネ・省資源活動や環境学習活動に取り組むためのプログラムです。区立小・中学校の取り組みについては、教育委員会事務局学校運営課学事係まで。

WEB

詳しくは、区のホームページをご覧ください。

●家庭版、事業所版

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/mondai/greenaction/index.html>

トップページ>>くらしのガイド>自然・環境・ごみ>環境保全施策の推進>めぐろグリーンアクションプログラム

●学校版

https://www.city.meguro.tokyo.jp/kyoiku/gakko_kyoiku/gakushukatsudo/school_mega/index.html

トップページ>教育委員会>学校教育>学校教育 学習活動>学校版めぐろグリーンアクションプログラム

3-2 人のつながりを育てる

【実現に向けた考え方】

区内には、環境保全活動に熱心に取り組んでいる人や団体が多数存在しています。地域の環境保全活動をさらに活性化するため、エコプラザを拠点とした環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む人や団体同士の交流や連携を図ります。

また、区民・事業者・区のパートナーシップや他都市との連携により、各主体の協力が必要な取組みや、地域を越えた広域的な環境課題に対する取組みの効果を一層高めます。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成 😊: 目標値に近づいている 😞: 目標値に近づいていない —: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2014 (平成26) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
目黒区エコプラザ登録団体数		22	8団体	7団体	38団体 (3団体/年)	😞
地球温暖化対策地域協議会開催回数		22	2回	2回	継続的な開催	😊
環境審議会開催回数		22	4回	3回	継続的な開催	😊

【2014（平成26）年度の成果】

- 目黒区エコプラザ登録団体数は、7団体で、2010（平成22）年度より減少しました。
- 地球温暖化対策地域協議会は2回、環境審議会は3回と継続的に開催しています。

3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

《地域の環境保全活動の普及および参加促進》

2014（平成26）年12月にエコライフめぐろ推進協会と共催で「エコまつり🍷めぐろ2014」を開催しました。参加団体数は45団体、来場者数は約3,000人でした。3回目となる今年は、「もったいない！衣・食・住」をテーマに様々なブースが設けられました。区では、小型家電回収のPRやエアロバイクによる発電体験を実施しました。新しい取組みとして、家庭に眠っている食品を持参いただき、区内の福祉団体などに寄付する「フードドライブ」が実施され、237点の食料が持ち寄られました。



<エコまつり🍷めぐろ2014>

また、地域の環境活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動や継続した取組みをしている区民・事業者・団体を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」は、2001（平成13）年度から開始し、今までに区民56人、47団体、10事業者の方が受賞しています。2014（平成26）年度は、3団体を顕彰しました。



<エコ・チャレンジ顕彰>

＜被顕彰者の取組み＞

被顕彰者（敬称略）	顕彰理由
中目黒公園 いきもの池・原っぱクラブ	長年にわたり、中目黒公園において、生物の生息環境を守り、子ども達に身近な自然環境と環境学習の機会を提供し、地域の環境保全と環境を守りはぐくむ人づくりに貢献した。
中目黒公園 有機クラブ	長年にわたり、中目黒公園において、完全循環型の公園づくりに取り組み、また都会での貴重な自然体験の機会を区民に提供し、地域の環境保全と環境を守りはぐくむ人づくりに貢献した。
目黒サンクチュアリーズ	東山公園において、目黒区に生息する動物や植物の絶滅危惧種及び希少種の保全に積極的に取り組み、地域の環境リーダーとして生物多様性に配慮した魅力あるまちづくりに貢献した。

2015（平成27）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 田道ふれあい館で開催予定の「エコまつり🌿めぐろ2015」について、環境にやさしいイベントになるよう支援を行います。
- ◇ 地域団体との連携、支援事業、地域活動協力者の養成を図ります。
- ◇ 環境負荷の低減や環境保全のために顕著な取組みを行っている区民、事業者及び団体等を顕彰し、地域における環境保全の取組み意欲を高め、環境と共生するまちづくりの推進を図ります。

トピックス

エコライフめぐろ推進協会とは…

1995（平成7）年、区民と行政が連携してリサイクルを推進する組織として「リサイクルめぐろ推進協会」が設立されました。その後、2005（平成17）年に環境全般に亘る事業を行う「エコライフめぐろ推進協会」へと改名し、環境問題に関する情報の普及・啓発や環境活動をする区民や区内事業者の支援を行っています。2006（平成18）年には、区の指定管理者となり、エコプラザの管理運営も行っていきます。

2015（平成27）年2月11日には、エコライフめぐろ推進協会設立20周年記念として、目黒区総合庁舎大会議室で、アルピニスト野口健氏を講師に招き、「富士山から日本を変える」講演会を開催し、244名が来場しました。

今後は、環境問題に積極的に関心を持つ人たちだけでなく、一人でも多くの区民に環境にやさしいライフスタイルに関心を持ってもらい、様々な立場の人たちがつながっていけるネットワーク作りの拠点となる役割も期待されています。

WEB

<http://park15.wakwak.com/~meguro.3r/>

3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

《 区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進 》

協働による環境保全活動の推進に向けて、環境審議会を3回開催し、目黒清掃工場建替事業に伴う環境影響評価調査計画書の区長意見（案）に対する意見聴取等について報告を行いました。

また、区民や事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を2回開催しました。協議会の中では、目黒区地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組みについて検討しました。

<環境審議会の開催内容>

回・開催日	主な議題・報告事項
第1回 2014（平成26）年 7月2日	1. 夏期における区有施設等の節電対策について 2. 平成26年度住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成事業の実施について 3. みどりの実態調査について 4. 目黒清掃工場建替計画に伴う今後の環境影響評価手続きについて
第2回 2014（平成26）年 10月2日	1. 目黒清掃工場建替事業に伴う環境影響評価調査計画書の区長意見（案）に対する意見聴取について 2. 平成26年度版めぐろの環境（環境報告書）の発行について
第3回 2015（平成27）年 1月30日	1. 平成26年夏期における区有施設等の節電対策の実施結果及び今後の対策について 2. 環境基本計画における重点プロジェクトテーマ2「節電からはじめるライフスタイルの転換」の検討状況について 3. 「目黒清掃工場建替事業」に係る環境影響評価調査計画書に関する東京都の審査意見書の受理について

2015（平成27）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 環境審議会や地球温暖化対策地域協議会を開催します。
- ◇ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」に基づき、二酸化炭素排出量やエネルギー消費量の削減に向けた取組みを推進します。

トピックス

目黒区環境審議会とは…

2000（平成12）年12月に制定した「目黒区環境基本条例」第22条に基づき、区における環境の保全に関して必要なことを調査審議するためにおかれた区長の附属機関です。

環境基本計画に関することや環境の保全に関する基本的なことを話し合います。本会議は公開されており傍聴できます。また、会議録を目黒区のホームページでご覧いただくこともできます。

また、審議の効率的な運営を図るために小委員会を、専門的知識を必要とする議題を審議するために専門委員会を設置することがあります。

WEB

https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/keikaku/torikumi/shizen/kankyo_shingikai/index.html

トップページ>行政情報>計画・政策>目黒区の取り組み>自然・環境への取り組み>環境審議会

目黒区地球温暖化対策地域協議会とは…

区民、事業者、地域団体、学校、区など、幅広い分野の代表者がメンバーとなり、2006（平成18）年12月に設立されました。2007（平成19）年度に「地球温暖化防止目黒行動宣言」を実施したほか、2008（平成20）年3月末策定の「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の改定について検討しました。今後も、地域が一体となって地球温暖化防止の取組みを進めるため、さまざまな啓発活動を行っていきます。

WEB

https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/mondai/ondanka_taisaku/ondanka_kyougikai.html

トップページ>くらしのガイド>自然・環境・ごみ>環境保全施策の推進>地球温暖化対策
>地球温暖化対策地域協議会

3-2-3 地域を越えた広域的な連携

《 他地域との連携による取組みの推進 》

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット²¹を展望した事業の一つとして、2010（平成22）年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。

2014（平成26）年度は、めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草等の刈り払いを2回行いました。また、支柱の腐食が進んだため、支柱を交換しました。さらに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。



<めぐろエコの森>

2015（平成27）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、下刈作業を行います。

²¹ カーボン・オフセット：自らの温室効果ガス排出量を認識し、削減努力を行い、どうしても削減できない排出量をほかの場所での排出削減・吸収量等を購入すること又は活動等を実施することにより、その排出量の全部または一部を埋め合わせること。